

MV-22 オスプレイからの部品落下事故に対する抗議決議

去る3月12日、MV-22 オスプレイがアルミ製部品を落下させるという事故が発生した。沖縄防衛局から本市に連絡があったのは、事故発生から4日後の3月16日になってからである。通報がおくれた上に詳細な事故原因も明らかにしないまま、住宅地域上空での飛行を続けており、市民・県民の安全より軍事訓練が優先される危険な状態に、市民の怒りは既に限界を超えている。

MV-22 オスプレイと普天間基地所属機に限っても部品落下・紛失は、今年度だけで既に4件も発生しており、米軍の緊張感の欠如を強く指摘せざるを得ない。また、これまで事故の原因究明、公表もされず飛行訓練を続けるのは、近い将来大惨事を起こしかねない。

よって、本市議会は、市民・県民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、今回のMV-22 オスプレイからの部品落下事故に対し、厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 同型機の飛行を即時中止し、事故原因の結果を早急に公表すること。
2. 住宅地域上空での飛行訓練を即時中止すること。
3. 日米地位協定を抜本的に改定すること。
4. 普天間飛行場の即時閉鎖、早期返還を実現すること。

以上、決議する。

平成27年3月26日

沖縄県宜野湾市議会

《あて先》

【抗議決議】駐日米国大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官、在沖米国総領事